

## 研究の概要

当病棟ではR3年から脳血管疾患後のリハビリ目的の患者も受け入れている。自立支援を必要とする患者が多いが、安全確保のために身体抑制を行っている患者が多い。身体抑制解除には、看護師の身体抑制に対する意識改革が必要であることが前年度の研究で明らかになった。抑制解除に向けたケアにつなげるために、学習会や倫理的視点で患者カンファレンスを行い、前年度との意識変化を調査分析する必要があると考えた。

## 研究期間

承認日より2022年2月3日まで

## 研究機関の名称及び研究機関の長

独立行政法人国立病院機構山形病院  
院長 川並 透

## 研究責任者の氏名

看護部6病棟  
看護師 高橋 真唯

## オプトアウト

特記なし